

令和4年度 第46回近畿高等学校ハンドボール新人大会 兼 第46回全国高等学校ハンドボール選抜大会近畿予選実施要項

- 主催 近畿ハンドボール協会・近畿高等学校体育連盟・近畿高等学校体育連盟ハンドボール専門部
- 主管 兵庫県ハンドボール協会・兵庫県高等学校体育連盟・兵庫県高等学校体育連盟ハンドボール専門部
- 協賛 (株)ミカサ・(株)モルテン・(株)管公学生服
- 期日 令和5年1月27日(金)・28日(土)・29日(日)
- 会場 グリーンアリーナ神戸 神戸市須磨区緑台(神戸総合運動公園内)
- 申込方法 (1)用紙 所定の用紙A4で1部提出
(2)提出先 各府県の高体連ハンドボール専門部専門委員長
(3)締切期日 令和4年12月28日(水)必着のこと
(4)参加料 1チーム30,000円
振込先 三井住友銀行【店名】尼崎【店番】419【預金種目】普通預金【口座番号】5289417
【口座名】兵庫県高体連ハンドボール専門部一般会計 会計 湯浅希恵
振込期日 令和4年12月28日(水)まで ※振込者名欄には必ず「学校名」「男女」をお入れください。
- 競技規則 令和4年度(公財)日本ハンドボール協会競技規則により行う。
(1)予選リーグについて
試合時間は25分-10分-25分とする。
リーグ戦の順位決定について<順位決定は次の順序で行う。>
①ポイント方式(勝ち=2、引分け=1、負け=0)
②得失点差
③総得点
④チーム間の対戦結果
補則<上記方法で順位決定ができない場合>
各予選リーグ戦終了後、当該チームにより7MTC(5対5)を行い、順位を決定する。
(2)順位決定戦について
試合時間を25分-10分-25分とし、同点の場合は第1延長まで行い、時間内に勝敗が決しない場合は、7MTC(5対5)とする。
- 競技方法 (1)近畿2府4県の1位6チームと2位6チームをそれぞれ3チームずつに分けリーグ戦を行う。1位各リーグの上位2チームの計4チームで順位決定戦を行い、1~4位を決定する。
(2)1位各リーグの最下位2チームと2位各リーグ1位2チームの計4チームでトーナメント戦を行い順位を決定する。(1位各リーグの最下位2チームをこのトーナメント戦のシードとし、2位各リーグの1位2チームについては抽選を行う。)なお、このトーナメント戦の1位チームを5位、2位チームを6位とする。(ただし、全国選抜大会出場枠が6チーム以上の場合は5位決定戦を行わず、両チーム5位とする。)
(3)この順位は、近畿新人大会の順位とする。また、男子上位6チーム、女子上位5チームに全国選抜大会の出場権を与え、近畿ブロック順位に適用される。
- 参加資格 令和4年度全日本高等学校ハンドボール選手権大会要項に準ずる。但し、1・2年生に限る。
- 参加制限 (1)各府県男女各2チーム
(2)1チームの編成は、役員4名(引率責任者を含む)と、選手20名以内とする。ただし、試合エントリーは16名編成とする。(ベンチには役員4名と選手16名以内とする。)なお、役員が生徒の場合は学年を記入すること。[但し、ベンチ入りに際して役員4名及び選手は、日本ハンドボール協会に登録され、大会申込書及びプログラムに記載された者であること。なおかつ日本協会登録証を持っていることとする。]
(3)外国人留学生の参加については、大会登録選手20名の内2名までとし、競技出場は7名中1名までとする。
- 表彰 男子1~6位・女子1~6位のチームを表彰する。
- TD会議 令和5年1月10日(火) 場所未定 13時~
- 審判会議 令和5年1月27日(金) グリーンアリーナ神戸 多目的室 8時30分~
- 代表者会議 開催しない。
- 開閉会式 開会式および閉会式は行わない。
- 抽選 令和5年1月10日(火)近畿高等学校体育連盟ハンドボール専門部理事会にて行う。
なお、5・6位、決勝トーナメントの抽選は、男子が1月27日(金)の全試合終了後、女子が1月28日(土)の全試合終了後にグリーンアリーナ神戸のフロアにて行う。
- 試合球 (公財)日本ハンドボール協会検定球(ミカサ社 HB3000・HB2000、モルテン社 H3X4000・H2X4000)
本年度は、第1日目男子予選リーグは(ミカサ)、第2日目女子予選リーグは(モルテン)、第3日目順位決定トーナメントは、男子は(モルテン)、女子は(ミカサ)を使用する。
- その他 (1)宿泊の斡旋を希望するチームは、別紙申込用紙にて申し込むこと。
(2)出場チームは必ず引率責任者によって引率されなければならない。また、引率責任者は選手すべての行動に責任を負うものとし、選手は高校生としての本分を忘れてはならない。
(3)競技中の負傷は応急処置のみ大会本部で行う。
(4)松ヤニ・松ヤニスプレーの使用は禁止。両面テープのみ使用を認める。
(5)競技中は体育館専用シューズを使用すること。
(6)各試合前に、役員及び選手は、日本協会登録証を提示すること。
(7)本大会に裁定委員会を設置しMO・TDを配置する。
(8)本予選会の実施については、新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、主催者が開催の可否を最終判断する。また、社会情勢により大会の方法などを見直すこともあり得る。